

家族で学んで話し合おう 奨学金のこと

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所



はじめに

- 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)は、最もよく利用されている奨学金で、わが国の奨学金貸付けの90%を占めています。
- 平成29年度に奨学金の貸与を受けた学生は約129万人で、わが国の高等教育機関に通う学生の37.2%(2.7人に1人)に相当します。
- JASSOによる貸与型奨学金の一人当たりの貸与総額の平均は、第一種奨学金で241万円、第二種奨学金で343万円と報告されています。毎月返還額の平均は1万5千円程です。
- 奨学金のしくみ、社会経験のない高校生や大学生が簡単に理解できるものではありません。

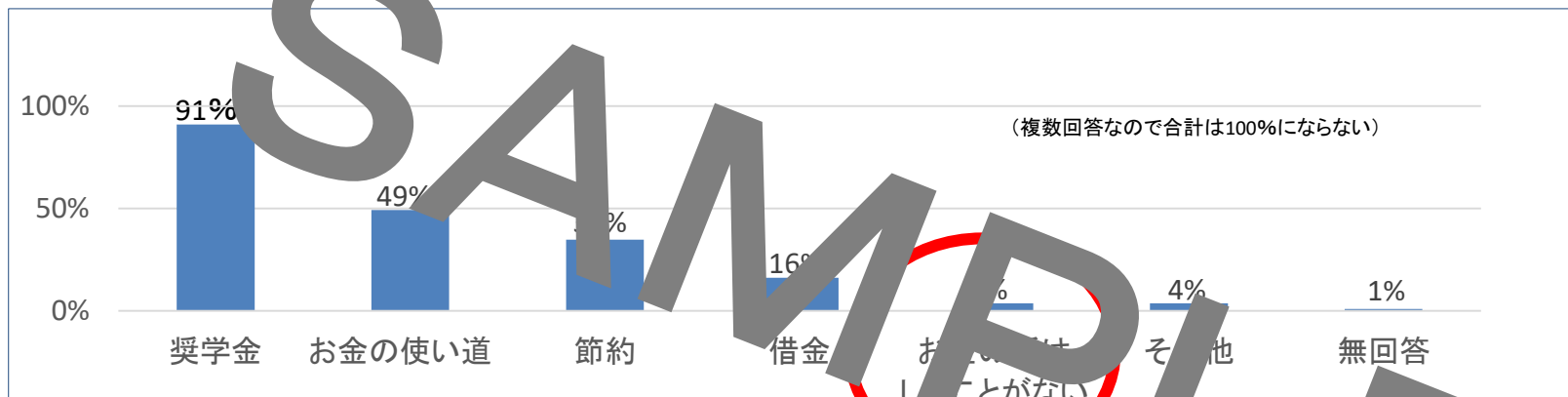
一人ひとりの可能性を現実のものとし、
子どもが経済的に自立できるよう、支援し見守るのが
「親の役割」です。

子どもの進学と費用について、親子で、しっかり学びましょう

今日から家族で始めて欲しい「お金の話」

- 当研究所が、奨学金を利用している2020年卒業予定の大学・専門学校生を対象に「若者の消費行動に関するアンケート」を行ったところ、約1割の家庭で「**奨学金が話題になったことはない**」という結果が明らかになりました。さらに家庭内で「お金の話をしたことがない」と答えた学生も4%いました。

【家庭内でのお金の話】



■ JASSOの奨学生延滞者の傾向

① 申し込み時に書類を作成しているのは、

- ・無延滞者 ⇒ 学生本人 54.8%
- ・延滞者 ⇒ 学生本人 35.5%

● **契約当事者である学生本人が知らないのは、大問題。**

② 返還義務を知った時期を聞いてみると、

- ・無延滞者 ⇒ 申し込み手続き時 89.0%
- ・延滞者 ⇒ 申し込み手続き時 50.9%

● 延滞者が返還義務のあることを知った時期では「滞延後に督促を受けてから」という人もいます。

資料:「平成29年度奨学金の返還者に関する属性調査」
(JASSOが2019年3月に公表)

高等教育機関に入学年度に納めるお金

* 高等教育機関とは、大学・短大・専門学校等のことをいいます。

▼ 以下はそれぞれの大学・短大・専門学校の授業料(施設設備費等を含む)と入学金(初年度)の目安です。

国立大学		
	入学金	授業料等 合計
文系	282,000円	877,800円
理系	282,000円	877,800円

私立大学		
	入学金	授業料・施設設備費 合計
文系	228,262円	1,172,582円
理系	255,566円	1,549,688円

※国立大学の入学金・授業料は、文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」の標準額を記載。

※私立大学の入学金・授業料は、文部科学省「令和元年私立大学に係る初年度納付金平均額(定員一人当たりの調査結果について)」を参考に作成。

短期大学		
入学金	授業料・施設設備費等	合計
239,058円	876,144円	1,115,202円

専門学校		
入学金	授業料・施設設備費等	合計
181,000円	891,000円	1,072,000円

※記載の金額は、文部科学省による短期大学入学金、授業料、施設設備費の平均。

※学校によって授業料、入学金に差異があるので、各自で進学を希望している学校のHPなどで確認してください。

※記載の金額は、東京都専門学校各種学校協会の「平成30年度学生・生徒納付金調査」を参考に作成。

※学校によって授業料、入学金に差異があるので、各自で進学を希望している学校のHPなどで確認してください。

進学に備えて必要なお金を把握する

- 進学には「お金の準備」が必要です。
ご家族で「いつまでに」「どのくらいのお金が必要なのか」を知り、「備える(計画を立てる)」ことが大切です。

高校3年

入学後

■ 受験準備の費用

費目	費用
高校授業料	
塾の月謝	
夏期講習	
冬季講習	
模擬試験	
合計	円

■ 受験の費用

費目	費用
願書代金	
入学共通テスト	
国立大学	
私立大学	
専門学校	
AO入試	
交通費	
宿泊・食費	
合計	円

■ 入学前の費用

費目	費用
入学金	
前期授業料	
施設設備費	
教科書・教材	
<一人暮らし>	
初期費用等	
合計	円

■ 入学後の費用

費目	費用
後期授業料等	
<一人暮らし>	
仕送り等	
合計	円

※ 実際に、いくら費用が必要になるか、事前に確認し早めに把握しましょう。

JASSOの奨学金の概要 ① 貸与型奨学金

- 貸与型奨学金の種類 第一種、第二種、入学時特別増額 ※すべて「進学後」に貸与されます。

■ 貸与額と採用基準

貸与型の種類	利用できる金額と収入・所得の上限額の目安	採用基準
貸与型第一種	月額2～3.4万円 (給与所得者4人世帯 747万円 給与所得者以外で349万円) 学長長の推薦が必要	■ 高等学校または専修学校高等課程の1年から申込時までの成績の平均値が3.5以上
貸与型第二種	月額2～3万円 (給与所得者5人世帯 307万円 給与所得者以外で892万円)	■ 高等学校又は専修学校(高等課程)における学業成績が平均水準以上と認められる者
入学時特別増額	5種類から選択 10万円、20万円、30万円、40万円、50万円	■ 第一種奨学金または第二種奨学金に加えて、増額して貸与する利子付の奨学金です。 ■ 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を利用できなかった世帯の生徒を対象とする制度です。

※ 第一種奨学金は、自宅・自宅外／国公立・私立によって金額が異なります。

- 保証制度
 - ・ 機関保証 保証会社(毎月の奨学金貸与額から保証料が差し引かれて振り込まれます)
(貸与型) → 月額 10万円貸与で保証料が5,000円程度差し引かれます。
 - ・ 人的保証 連帯保証人: 父母、保証人(おじ、おば等)
- 利率
 - ・ 利息固定 年利 0.157%(最近の例)、最大でも3%
 - ・ 利息見直し 年利 0.003% ※年利は進学した学校を卒業時にJASSOから発表されます。
- 信用情報 返還開始から6か月経過後に延滞が3か月以上となった場合、個人信用情報機関への登録対象となります。

JASSOの奨学金 貸与型シミュレーション

- 貸与型の奨学金を利用するときは、将来(卒業・中退)必ずやってくる返還のことを考えたうえで、金額を決めなければなりません。返還義務者(契約者)は、学生本人です。
- 下は第二種奨学金(有利子)の返還シミュレーション(あくまでも目安)です。
- 利息は、最高で3%となっていますが、最近の利率固定方式では0,157%です。

月額貸与額	貸与総額	毎月返還金額	返還年数	返還回数
※10,000円きざみで 20,000 ~ 120,000	1,000,000	8,000	10	132
	2,000,000	12,000	13	168
	3,000,000	15,000	17	211
	4,000,000	17,000	20	240
	5,000,000	21,000	20	240
	5,760,000	24,000	20	240

- * 私立大学医・歯学課程の場合、最大月額貸与額120,000円に40,000円の増額が可能です。
- * 薬・獣医学課程の場合、同120,000円に20,000円の増額が可能です。

JASSOの奨学金の概要 ② 給付型について

2020年からの新制度で「給付型奨学金＋授業料減免」がセットに

- 新制度では、住民税非課税世帯だけでなく、住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学生が対象になりました。
- 給付型奨学金の種類・給付型奨学金・授業料減免 ※ **すべて「進学後」に給付されます。**

授業料・入学金の
免除/減額

JASSOから直接学校に支払
われます

給付型奨学金を
毎月支給

子どもの口座に入金されます

以下の条件により支給額が異なります。

- ✓ 世帯収入
- ✓ 進学先の学校の種類(国公立・私立)
(大学/短期大学/高等専門学校/専門学校)
- ✓ 自宅から通学 or 一人暮らし

JASSOの奨学金の概要 ② 給付型について

【成績基準】

1. 高等学校等における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること。
2. 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること。

※学業不振の場合は、打ち切り(返還)もあります。

【家計基準と支援基準】

区分	収入	支援基準
第一区分	住民税非課税世帯(年収10万円未満)	上限額の支援
第二区分	年収約300万円未満	上限の3分の2を支援
第三区分	年収約380万円未満	上限の5分の1を支援



※給付型奨学金は、自宅・自宅外／国公立・私立によって金額が異なります。

※採用基準については、JASSOホームページの「進学資金シミュレーター」(右斜めQRコード)で確認ください。

【資産基準】

1. 申込み(生徒)・生計維持者(父母)の資産の合計が一定額未満
2. 生計維持者が一人の場合:1250万円、生計維持者が2人の場合:2,000万円



**※給付型奨学金は全ての大学が対象ではありません。
早めに、進学希望先の大学ホームページを確認しましょう。**

JASSOの奨学金の概要 ② 給付型について

【入学金・授業料の支援額】

区分	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約5万円	約23万円	約13万円	約70万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生は、住民税非課税世帯の学生と同様に又は1/3の支援額となります。

※「入学金」の免除・減免を受けられるのは、入学後3か月以内に申請し支援対象になった学生です。

【給付型奨学金の支援金額】

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円 ※2(33,000円)	66,700円	38,300円 ※2(42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	25,600円 (28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	12,800円 (14,200円)	25,300円

【第Ⅰ区分の場合】

私立大学に自宅外から通学する場合、初年度には、最大約187万円受け取ることができます。



※世帯の所得金額に基づく区分、通学系形態により表の金額が、毎月1回振り込まれます。

※2 生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は下段()内の金額となります。

JASSOの申し込みスケジュール(予約採用)

高校3年生の
5月生徒対象説明会
6月書類提出

※変更の可能あり

給付型
(返還不要)

第一種
(無利子)

第二種
(有利子)

入学時
特別
増額
貸与

希望金額
を選択
10万円
20万円
30万円
40万円
50万円

JASSOの選考があります。

12月下旬頃決定通知

- JASSOの選基準に満たない場合は、不採用になることもあります。
- 進学後「申請」を辞退することもできます。

大学・短大・専門
学校
入学

進級時
奨学金継続
手続き

入学時特別増額貸与は、**入学後**に支払われます。入学金として必要な場合は、予約した金額の範囲内で特別増額貸与を奨学金が交付されるまでの間、労働金庫から融資が受けられます。(別途手続きが必要です)

- 進級時継続手続きで学業不振の場合(中退も含む)は、奨学金は打ち切りになり、返還を求められます。
- 家計調査で借り過ぎと思われる場合は、減額指導されます。

※参考資料: JASSOホームページ

JASSO以外の教育ローン

- JASSOの奨学金は、「支給開始」が進学後です。
合格発表後すぐに必要となる「入学手続き費用」を、奨学金以外で用意しなければなりません。

日本政策金融公庫 「国の教育ローン」	民間金融機関 「教育ローン」	労働金庫 「入学時必要資金融資」
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者：世帯年収99万円。（子どもの数3人の場合） ・契約者：保護者。 融資限度額：子ども1人につき350万円以内。一定の要件を満たすと450万円。 ・金利：年1.68%固定金利（金利は金融情勢により変動有）。 ・返済期間：最長15年間。 ・返済開始：借りた翌月から（元本据え置き可）。 ・使い道：学校納付金、受験にかかった費用、住居にかかる費用、通学費用、パソコン代、教科書代等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者：世帯年収制限なし。（一定した収入が必要）。 ・契約者：原則保護者。 ・借入可能額：0～100万円。 ・金利：10～14%程度（調査時変動）一部固定金利あり。 ・返済期間：約17年。 ・返済開始：在学中は利息のみ。卒業後元利均等返済。 ・使い道：学校納付金、受験にかかった費用、住居にかかる費用、通学費用、教科書代金等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者：①世帯の収入がJASSOの定める基準以下であり、②国の教育ローンが不採用となった家庭。 ・契約者：学生本人。 ・与額：10万円、20万円、30万円、40万円、50万円。 ・金利：入学時特別増額貸付奨学金、なぎ融資期間中は利息あり。 ・使い道：学校納付金。 ・返済開始：入学後にJASSOの奨学金支給後、直ちに一括で返済。

※その他、進学先独自の奨学金や、民間団体の奨学金、地方自治体の奨学金等があります。

※詳細は、国の教育ローンは「近くの金融機関」に各自で問い合わせる。民間金融機関に問い合わせる。

JASSOの奨学金と教育ローンの違いと注意点

【奨学金と教育ローンの違い】

- 国の教育ローンと民間の教育ローンの契約者が「保護者」であるのに対して、JASSOの奨学金と、労働金庫「入学時必要資金融資」の契約者は「学生本人」です。

【奨学金の注意点】

貸付型以外 JASSOの奨学金は、
子どもの未来の「借金」になります!!

■奨学金のメリット

- 家庭の経済環境に関わらず、進学の手続きが得られる。
- 毎月、確実に貸与金額が振り込まれるので、安心して学べる。
- 職業の選択枠が増える。

慎重な検討を

■奨学金のデメリット

- 学生本人が借金を背負うことになる。
- 短い人で10年、長い人だと20年間、経済的負担が続く。
- 万一返還ができなくなった場合、学生本人の信用情報に影響する。

進学先の決定はもちろんのこと、費用についても、子どもと話し合っておく必要があります。
 貸与型の場合は、在学中から可能な限り少ない金額にしておくことが、将来過剰な返還のリスクを回避するためにできることです。

JASSOの奨学金を延滞した場合の不利益と猶予制度を知る

- 奨学金の返還は貸与終了の7か月後から始まります。3か月延滞すると「個人情報情報機関」に登録されます。延滞しない場合は登録されません。

個人情報情報機関に登録された場合の不利益


- ・クレジットカードや借入の契約
- ・住宅ローンの契約
- ・携帯電話の契約
- ・賃貸住宅の契約
- ・将来銀行取引が必要になった場合の借金の契約

- **絶対にしてはならないこと。**

奨学金返済のための借金は絶対にダメ

- ・一般の借金はどんな種類であれ、奨学金ほど安い金利ではありません。
- ・安易に借りると、いつまでも借金から抜け出せなくなります。

返還に困った時の「返還困難者向け救済制度」

- ・返還猶予
→ 最長で10年、返還を猶予できる制度です。
 - ・減額返還
→ 毎月の返還額を減額できる制度です。最長で15年利用できます。
-  ① どちらの返還総額が減額されるわけではないので、完済までの年数が増えます。申請必須。
- ② 延滞している場合は制度を利用できません。



**困ったときは、迷わず
JASSOに連絡しましょう。**

最近の相談事例から

Aさんは、大学卒業時に奨学金だけで500万円の債務を抱えていました。卒業後の秋からは、給料の中から毎月2万5千円を返済していかなければならないこともわかっていましたと話します。

ところが、社会人になりひとりで暮らしを始めたAさんは、身の回りのものを購入するたびに、安易にクレジットカードを使用してしまう。奨学金の返済がはじまる頃には、生活に全く余裕がなくなっていました。返済に苦しむAさんは、新たなカネを作っては自転車操業による借金を重ねてしまい、債務を増やしてしまいました。

Bさんは、専門学校卒業後飲食店で働き始めました。奨学金債務は20万円程で、月々の返済は、1万2千円程だったので収入の中で返済はできていました。ところが、就職して2年が過ぎた。昨年の夏、コロナの影響で会社の業績が悪化し倒産してしまいました。

その後、再就職が思うように決まらず、奨学金の返済を滞るようになりました。この頃Bさんは、眠れない日々が続いていたので、心療内科を受診したところ、「うつ病」と診断されました。

それでも、生きていくためには生活費は必要です。経済的に苦しい両親にも相談できず、悩んだBさんは、手持ちのカードから借入れて生活費を補うようになりました。

**奨学金の返還は、長い人で20年かかります。
20年の間には、何が起こるかわかりません。**

おわりに

【親としての奨学金との付き合い方】

- 会話の中に、積極的に「お金の話」を取り入れましょう。
- 奨学金は、給付型→第一種(無利息)→第二種(有利子)の順に検討する。
- 自ら家計管理に取り組み、子どもの進学・未来に備えましょう。

かいかえがない
114万分の1の幸せを祈念しています。

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所

TEL : 03-6459-4770 Mail : nts_kskn@nts-hd.co.jp



【お知らせ】

私どもの活動にご賛同いただける方からのご寄付を受付けております。

詳しくはホームページをご覧ください

